

コロナ感染減少で一部改善がみられるも、低迷傾向続く

多くの業種が原材料価格等値上がりで価格転嫁困難な状況

～景況DI値は、前年同月比18.4ポイント低下のマイナス39.5～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 10月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比31.6ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比36.7ポイント低下のマイナス21.0。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比10.0ポイント上昇のマイナス26.8。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比5.3ポイント低下のプラス10.5、前年同月比10.5ポイント低下のプラス15.8。非製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比同水準のプラスマイナス0。

収益状況 製造業では、DI値前月比10.6ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比31.5ポイント低下のマイナス26.3。非製造業では、前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス52.6。

資金繰り 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス21.1。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のマイナス21.0、前年同月比同水準のマイナス47.3。

雇用人員 製造業では、DI値前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比0.1ポイント上昇のマイナス5.2。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス36.8。

景況 製造業では、DI値前月比10.6ポイント低下のマイナス10.6、前年同月比26.2ポイント低下のマイナス31.5。非製造業では、前月比21.1ポイント上昇のマイナス21.0、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス47.4。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比5.3ポイント上昇のマイナス15.7、前年同月比18.4ポイント低下のマイナス39.5となった。製造業の一般食料品、繊維工業、木材・木製品、金属製品関連で原材料価格が値上がりしており、価格転嫁が困難な状況となっている。非製造業では、新型コロナ新規感染者は減少傾向にあるものの、消費マインド低下が慢性化している。運輸業では、原油価格高騰により運賃へ転嫁することが出来ない状況。旅館・観光関連では、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の全面解除となり、予約状況等改善しつつある。県内景況は低迷傾向、新型コロナ新規陽性者数は減少傾向で一部改善がみられるものの、多くの業種が原材料価格等値上がりにより価格転嫁が困難な状況にあり、景気の持ち直しに繋がっていない。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

10月の全国倒産は、件数512件で、5カ月連続の前年同月比2ケタ減少となり、10月としてバブル期以来32年ぶり低水準。負債総額は967億2,700万円（負債総額1,000万円以上）で、3カ月連続の前年同月比2ケタ増となった。不況型倒産の合計は397件で、5カ月連続で前年同月を下回った。構成比は77.5%を占める。

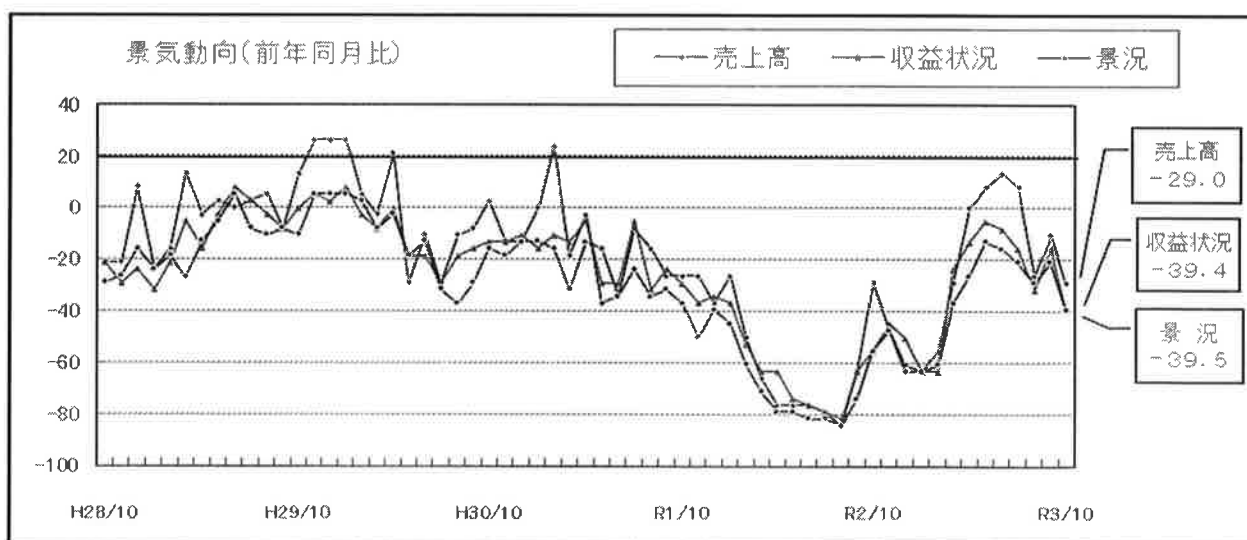
一方、10月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数3件（前月2件）、負債総額は4億3,600万円（前月2億6,000万円）で、業種では、卸売業、小売業、サービス業が各1件、主因は全て販売不振となっている。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報9月分」）

鳥取県の9月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.37倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.16倍）で、前月より0.03ポイント低下した。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.30倍、米子所1.35倍、倉吉所1.61倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.50倍（季節調整値）で、前月より0.03ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比10.3%増加し、有効求人数は11.7%の増加となった。産業別に前年同月と比較すると、運輸業・郵便業（48.0%）、公務・その他（46.7%）、製造業（38.4%）、サービス業（29.0%）、卸売業・小売業（10.1%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比0.8%増加し、有効求職者数は0.1%減少した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.27倍で、前年同月を0.07ポイント上回った。新規求人数は前年同月を10.0%上回った。



10月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	31.6%	-15.8 -31.6	42.1%	26.3%	15.8 15.8	28.9%	28.9%	0.0 -7.9
(2) 在庫数量	15.8%	5.3%	10.5 5.2	16.7%	16.7%	0.0 8.4	16.1%	9.7%	6.4 6.4
(3) 販売価格	10.5%	0.0%	10.5 -5.3	15.8%	10.5%	5.3 5.3	13.2%	5.3%	7.9 0.0
(4) 取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 -2.6
(5) 収益状況	5.3%	21.1%	-15.8 -10.6	26.3%	36.8%	-10.5 0.0	15.8%	28.9%	-13.1 -5.2
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	5.3%	26.3%	-21.0 5.3	2.6%	18.4%	-15.8 2.7
(7) 設備操業度	10.5%	10.5%	0.0 0.0						
(8) 雇用人員	0.0%	0.0%	0.0 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	2.6%	5.3%	-2.7 2.5
(9) 景 況	10.5%	21.1%	-10.6 -10.6	15.8%	36.8%	-21.0 21.1	13.2%	28.9%	-15.7 5.3

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	36.8%	-21.0 -36.7	21.1%	57.9%	-26.8 10.0	18.4%	47.4%	-29.0 -18.4
(2) 在庫数量	10.5%	5.3%	5.2 -0.1	8.3%	41.7%	-33.4 -16.7	9.7%	19.4%	-9.7 -6.5
(3) 販売価格	15.8%	0.0%	15.8 -10.5	15.8%	15.8%	0.0 0.0	15.8%	7.9%	7.9 -5.3
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	0.0%	15.8%	-15.8 10.5	2.6%	13.2%	-10.6 2.5
(5) 収益状況	10.5%	36.8%	-26.3 -31.5	15.8%	68.4%	-52.6 -15.8	13.2%	52.6%	-39.4 -23.6
(6) 資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3	5.3%	52.6%	-47.3 0.0	2.6%	36.8%	-34.2 -2.7
(7) 設備操業度	5.3%	21.1%	-15.8 -15.8						
(8) 雇用人員	5.3%	10.5%	-5.2 0.1	0.0%	36.8%	-36.8 -5.2	2.6%	23.7%	-21.1 -2.7
(9) 景 況	5.3%	36.8%	-31.5 -26.2	10.5%	57.9%	-47.4 -10.6	7.9%	47.4%	-39.5 -18.4

* D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 観光土産品関連業者は、引き続き従業員の一時帰休が続いている。小麦粉、油脂類等原材料の大幅な値上げを販売価格に転嫁することが困難な状況にあり、収益を圧迫している。

醤 油⇒ 味噌・醤油の業務用の市場が回復せず、低迷が続いている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、新型コロナ感染拡大を警戒し、全体的に昨年より生産量を抑えている。年末にかけても受注が大きく減少している状況。座席シート縫製では、自動車用半導体不足により、国内では自動車の製造自体が減産となっているため売上高は減少傾向。

ニット製品⇒ 受注は低迷しており、来年春物・夏物商品への動きも鈍い。原料である綿糸が高値となっており今後の動向に目が離せない。工場操業度維持が困難な状況であり、雇用維持についても問題が表面化してくる。

【家具装備品】

⇒ 海外運賃や人件費上昇により商品が値上がりしており、売上高は前年同月比で減少。海外ロックダウンにより入荷が遅れている。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で増加。合板の生産量も前月比で増加。原木価格は高止まりで、製材品価格も大きな変動はない。しばらくはこのまま推移する模様。プレカット加工の稼働率は、前月比、前年同月比ともに不変。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 冬季の需要期に向かい、ある程度の売上増加となっている。昨年と比較すれば回復してきているが、コロナ禍前から比較すれば、まだ2割から3割減といったところとなっている。

【印 刷】

⇒ コロナ禍で会議等が減り、資料、パンフレットなどの印刷が激減している。年末に向けての発注はまだ不透明な状況。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 10月の生コン出荷量は、前月比2%増加、前年同月比13%減少。全体的に低調。コロナ禍の中で、民間投資意欲が下がりつつある。公共投資は盆明けから改善がみられるが、前年度は防衛省美保基地関連を中心に公共工事が多かったが、本年度はあまりない。民間設備投資はマンションや製造工場などの工事があるが、数量を押し上げるほどではない。各地区ともに大型事業が少なく、需要が伸びなく厳しい。

【金属製品】

金 属 加 工⇒ 建築関係は、仕事量を確保しているが、鋼材の値上がり（高止まり

状態）と、一部品種（特にコラム）によっては、極端な品薄が続いている。機械加工は、自動機・工作機械関連を中心に、受注、引き合いが増えているが、鋼材の値上がりによる価格転嫁が難しく、品薄も不安要素となっている。半導体不足や、アジア圏のコロナ感染拡大による、部品供給不足を受けて、自動車メーカー減産の影響が懸念されたが、徐々に緩和されている。

鉄骨加工⇒ 主要な事業所では概ね年度内の山積み（受注量）が確保されている。柱となるコラムの入荷には4～5カ月を要しており、前倒し発注される物件も出始めてきた。小規模事業所ではサイクルの短い案件が多く、材料確保難での工程延期に伴う売上減という悪影響も避けられない状況。

金属熱処理⇒ 10月の受注状況は、自動車減産の影響により発注数が減少したため前月比で若干減少となった。前年同月比では、昨年はコロナ不況の反動として受注が拡大し始めた時期だったため15%以上減少。今まで唯一活発であった建設機械関係の受注にも、陰りが出てきている。

【電気機械器具】

⇒ 部材調達の問題は年内まで影響が出てくる。人員不足の問題は深刻で、特に海外からの入国制限により外国人技能実習生、特定技能生に影響が出ている。国内の人材コスト上昇により、収益状況は厳しい。国内大手電機メーカーの受注は増加傾向にあり、産業機器も増加傾向にある。

非 製 造 業

【卸 売 業】

東 部 地 区⇒ 検査キットなどコロナ対策用品は動いている。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。天候が良く数量的に増加したが、逆に安値となり売上高に繋がらなかった。鮮魚関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。11月は松葉ガニの解禁もあり、これからの盛り返しに期待する。

中 部 地 区⇒ 事務機器関連業界においては、半導体不足による商品遅延が続いており、機種にもよるが複写機、プロジェクター、特にプリンターは納期不明の状況であり、市場景気としては厳しい状態。

西 部 地 区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等から売上の回復は鈍い。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。また一部では輸入木材価格の高騰によるウッドショックの影響が見受けられる。

水 産 物⇒ 巻き網漁は昨年と同様の数量で推移した。九州地区の真アジ・北海道のブリ等他地域との水揚げと重なり、市場は低迷傾向が続いている。養殖餌料向けの冷凍魚の動きも一部活発となったが販売単価は伸び悩んでいる。紅ズワイガニ漁は安定した水揚げであり新型コロナ収束の期待感から問い合わせが多いものの、昨年の年末規制と、一部には外国人技能研修生の入国延期、他の業種への人材流出等で生産数量を見直すところもあり、浜値段は比較的安定した状況が続いている。

リサイクル原料⇒ 国内スクラップ市況は、需要増に対して供給の回復が遅れており、鉄スクラップの国内需給は引き締まった状態のため高値安定が続いた。古紙市況は不変。非鉄金属市況は、高値のまま月末を迎えた。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、新型コロナ新規感染者が減少傾向にあり、消費が若干動いてきているが、消費者心理として消費しないことへの慣れが出ている。鳥取市では地域振興券を発行する予定があるので、全体的な消費喚起に繋がることを願う。週末は県外客も多く見られ、観光的な要素は動きつつある。ここで経済対策を一気に動かしていかないと年末に向けて、体力的に非常に厳しい店舗も多い。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、10月17日、倉吉銀座商店街にある複合施設「打吹回廊」を主会場に、オンラインでの「福高祭2021」を実施した。鳥取県中部地震からの5年の節目の年のイベントで災害についての情報共有ができた。新型コロナ新規感染者が減少傾向にあり、商店街への人の動き、観光客の入り込みに期待する。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、10月23日、ほんどおり商店街から元町通り商店街にかけて「戸板市」が開催された。同時開催として「職人通り市」、「まちなか月イチマーケット」のイベントも行なわれ、多くの人出で賑わった。

境港市の水産物小売は、緊急事態宣言が全面解除され、少しずつではあるものの観光客が戻りつつあるが、10月現在ではまだ本来の営業再開には至っていない。11月に入れば松葉ガニのシーズンに入る。昨年は長引く自粛要請の反動や、GoTo トラベルの影響で、例年以上に消費者の購買意欲が高まっていた。今後の消費者の動向に注視している。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、緊急事態宣言が解除になっても観光客は増加することなく推移した。修学旅行のツアーがあるものの、ガソリン価格の高騰の影響もあり一般観光客、マイカー客は前年比で大幅に減少した。売上高は前月比で微増、前年同月比で大幅減少となり資金繰りも悪化した。

米子市のホテル・旅館では、緊急事態宣言解除と WeLove 山陰キャンペーン効果により、前月比では宿泊客、日帰客ともに増加したことから売上高は増加し、収益状況も好転した。前年同月比では、昨年はGoTo トラベル期間中であり、売上高は減少となっている。コロナ禍の中で、団体客が大幅に減少しており、景気回復のためにはGoTo トラベル早期再開が望まれる。

三朝温泉では、休業している旅館も多く低調であったが、緊急事態宣言解除後、隣県を中心に予約が増加傾向にある。

羽合温泉では、緊急事態宣言解除もあり、売上高は前月比で増加、前年同月比は減少。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数（軽自動車を含む）は1,510台で前月比が12%減、前年同月比は32%減。継続検査（車検）台数（軽自動車を含む）は13,799台で前月比が13%減、前年同月比は4%増。中古車（軽自動車を含む）は685台で前月比が2%減、前年同月比は7%減の実績であった。新車の落ち込みが激しくなっている。

【建設業】

⇒ 9月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額93億円（前年同月比20%減）、件数189件（同12%減）で、年度累計（令和3年4月～9月）は、請負金額535億円（前年同月比21%減）、件数1,030件（同7%減）となった。足元で3カ月連続の前年比マイナス、年度累計もマイナスが続いている。設備投資では単月、3カ月平均ともに大幅な前年比プラス。住宅建設は単月で3カ月ぶりの前年比プラス。木材・鉄鋼など資材価格上昇の影響は続いている。

9月の鳥取県新設住宅着工戸数は305戸（持家223戸、貸家82戸）で、前月比39%増加、前年同月比42%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 10月の物流は、製造業などの出荷量は出荷調整もあり減少傾向がみられたほか、農作物（新米）の輸送が販売不振から輸送量が激減した。復路輸送は荷物の情報量が低調で、荷物不足から空車回送も増え非効率な運行が増えている。売上高は前月比、前年同月比とも不変。原油の高騰から燃料価格の大幅な値上がりにより収益を圧迫し、資金繰りも悪化、一層厳しい状況となっている。

西部地区⇒ 緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除され、物流も戻るのではと期待したものの輸出関連などは円安に支えられ好調だが原油高、半導体供給不足などで往路復路ともに出荷量はコロナ禍以前の8割程度となっている。運賃もコロナ禍以前には戻っていない。原油価格は相変わらず上昇し続けている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・雇用調整助成金の期間延長。【ニット製品製造業】
- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・外国人技能実習生の受入許可を早急に希望する。【電子部品製造業】
- ・これから、手を緩めずどんどん経済対策を打っていただきたい。【商店街】
- ・ウィズコロナ、アフターコロナについて情報共有し、ご支援を受けながら組合を前進させたい。【商店街】
- ・GoToキャンペーンの早期長期的な実施や月次支援金の給付要件の緩和など抜本的かつ長期的な施策を願う。【旅館業】
- ・原油価格高騰で運賃に転嫁も切り出せない。一日も早い燃料対策が急務。【運輸業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との 増減幅
		1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	
売 上 高	製 造 業	47.4	0.0	-10.5	-47.3	5.2	31.6	-26.3	-31.5	-5.3	10.5	-36.8	15.8	-15.8	-63.2
	非製造業	0.0	0.0	-10.5	-68.4	5.3	26.3	0.0	-10.5	-5.2	10.5	-5.3	0.0	15.8	15.8
	全 業 種	23.7	0.0	-10.5	-57.9	5.3	29.0	-13.1	-21.1	-5.3	10.5	-21.1	7.9	0.0	-23.7
在庫数量	製 造 業	-5.3	-5.2	-10.5	5.2	0.0	5.2	10.6	5.3	15.8	10.5	-5.2	5.3	10.5	15.8
	非製造業	0.0	16.6	0.0	-16.6	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	-8.4	8.4	-8.4	0.0	0.0
	全 業 種	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	3.2	9.7	3.2	16.1	3.2	0.0	0.0	6.4	9.6
販売価格	製 造 業	-5.2	0.0	0.0	10.5	0.0	26.3	21.1	10.5	15.8	15.8	21.1	15.8	10.5	15.7
	非製造業	0.0	0.0	10.6	-21.0	-15.8	-10.5	-10.5	10.5	-10.5	0.0	-5.3	0.0	5.3	5.3
	全 業 種	-2.6	0.0	5.3	-5.3	-7.9	7.9	5.3	10.6	2.6	7.9	7.9	7.9	7.9	10.5
取引条件	製 造 業	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.6	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3
	非製造業	0.0	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-15.8	-15.8
	全 業 種	0.0	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-2.6	0.0	2.7	-2.7	-5.3	-5.3	-7.9	-10.5	-10.5
収益状況	製 造 業	-15.8	-10.5	-5.2	-42.1	-10.6	10.5	-26.3	-16.8	-31.5	-15.8	-15.8	-5.2	-15.8	0.0
	非製造業	0.0	0.0	-5.3	-68.4	-10.5	0.0	-20.9	-42.1	-21.0	-21.0	-21.0	-10.5	-10.5	-10.5
	全 業 種	-7.9	-5.2	-5.2	-55.3	-10.5	5.2	-23.7	-28.9	-26.3	-18.4	-18.4	-7.9	-13.1	-5.2
資金繰り	製 造 業	0.0	5.2	0.0	-21.1	-5.3	10.5	10.2	-10.5	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5
	非製造業	0.0	0.0	-15.8	-36.8	-31.5	-21.1	-15.8	-36.8	-26.3	-10.5	-26.3	-26.3	-21.0	-21.0
	全 業 種	0.0	2.7	-7.9	-28.9	-18.5	-5.3	-5.3	-23.7	-13.1	-7.9	-18.5	-18.5	-15.8	-15.8
設備操業度	製 造 業	-5.3	0.0	0.0	-42.1	-42.1	21.0	-5.3	-15.8	-5.3	5.3	-26.3	0.0	0.0	5.3
雇用人員	製 造 業	0.0	5.3	5.3	-5.3	5.3	10.5	5.2	-5.2	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非製造業	-5.2	-5.3	-15.8	-15.8	-15.8	5.2	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	-5.2	-10.5	-5.2	0.0
	全 業 種	-2.7	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	7.9	-2.6	-7.9	-5.3	0.0	-2.7	-5.2	-2.7	0.0
景 況	製 造 業	-10.6	-15.8	-15.8	-42.1	-31.6	-10.5	-26.3	-10.6	-15.8	-10.6	-21.0	0.0	-10.6	0.0
	非製造業	10.5	-10.5	-15.8	-57.9	-31.6	-26.3	-36.8	-47.3	-31.5	-36.8	-36.8	-42.1	-21.0	-31.5
	全 業 種	0.0	-13.2	-15.8	-50.0	-31.5	-18.4	-31.5	-28.9	-23.6	-23.7	-28.9	-21.0	-15.7	-15.7

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との 増減幅
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
売上高	製造業	-52.4	-42.1	-73.6	-73.7	-52.6	-15.8	-10.5	5.2	0.0	0.0	-31.6	15.7	-21.0	31.4
	非製造業	-5.3	-52.7	-47.4	-52.6	-57.9	-42.1	10.5	10.6	26.3	15.8	-21.1	-36.8	-26.8	-21.5
	全業種	-29.0	-47.4	-60.6	-63.2	-55.2	-29.0	0.0	7.9	13.2	7.9	-26.3	-10.6	-29.0	0.0
在庫数量	製造業	-26.3	0.0	-21.1	-15.8	-21.1	-15.8	10.6	10.5	10.5	5.3	-15.8	5.3	5.2	31.5
	非製造業	0.0	-16.7	-8.3	-33.4	-33.4	-33.4	-8.3	-16.6	0.0	-16.7	8.4	-16.7	-33.4	-33.4
	全業種	-16.1	-6.4	-16.1	-22.5	-25.8	-22.5	3.3	0.0	6.4	-3.2	-6.4	-3.2	-9.7	6.4
販売価格	製造業	-21.0	-21.0	-21.0	-15.8	-15.8	0.0	10.5	5.2	21.0	21.0	15.8	26.3	15.8	36.8
	非製造業	0.0	-10.6	-5.3	-5.3	-10.5	-26.3	-15.8	-15.8	-5.3	-5.3	-15.8	0.0	0.0	0.0
	全業種	-10.6	-15.8	-13.2	-10.6	-13.2	-13.1	-2.6	-5.3	7.9	7.9	0.0	13.2	7.9	18.5
取引条件	製造業	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	10.5	10.5	10.5	10.5	-5.2	0.0	-5.2	0.1
	非製造業	-21.1	-5.2	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-26.3	-15.8	5.3
	全業種	-13.2	-5.3	-10.5	-5.3	-13.2	-10.5	0.0	0.0	0.0	2.6	-10.6	-13.1	-10.6	2.6
収益状況	製造業	-63.2	-52.7	-57.9	-63.1	-52.6	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5	-21.0	-36.8	5.2	-26.3	36.9
	非製造業	-47.4	-36.8	-42.1	-63.1	-73.7	-31.5	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-26.3	-36.8	-52.6	-5.2
	全業種	-55.3	-44.7	-50.0	-63.1	-63.2	-23.7	-13.1	-5.3	-7.9	-15.8	-31.6	-15.8	-39.4	15.9
資金繰り	製造業	-36.8	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-21.1	-26.3	-15.8	-21.1	15.7
	非製造業	-36.9	-26.3	-42.1	-57.9	-57.9	-42.1	-10.5	-31.5	-36.8	-26.3	-36.8	-47.3	-47.3	-10.4
	全業種	-36.8	-23.7	-34.2	-44.7	-47.4	-28.9	-13.1	-2.9	-26.3	-23.6	-31.6	-31.5	-34.2	2.6
設備操業度	製造業	-42.1	-52.6	-42.1	-52.6	-52.6	-21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-10.6	-31.5	0.0	-15.8	26.3
雇用人員	製造業	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-5.3	10.5	-10.5	-5.2	-15.8	-5.3	-5.2	15.9
	非製造業	-15.8	-26.3	-31.6	-31.6	-31.6	-21.0	-10.6	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-31.6	-36.8	-21.0
	全業種	-18.4	-21.1	-23.7	-23.7	-21.1	-10.5	-7.9	-7.9	-10.6	-10.6	-21.1	-18.4	-21.1	-2.7
景 況	製造業	-63.2	-57.9	-73.7	-73.7	-52.6	-26.3	-21.0	-10.5	-5.2	-15.8	-21.0	-5.3	-31.5	31.7
	非製造業	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-68.4	-47.4	-31.5	-15.8	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-47.4	0.0
	全業種	-55.2	-47.4	-63.2	-63.2	-60.6	-36.8	-26.3	-13.1	-15.8	-21.0	-29.0	-21.1	-39.5	15.7

情報連絡員報告総括表(令和3年10月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況									
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化							
製造業	食料品																																	
	繊維工業																																	
	木材・木製品																																	
	紙・紙加工品																																	
	出版・印刷																																	
	化学ゴム																																	
業	窯業・土石製品																																	
	鉄鋼・金属																																	
	一般機器																																	
	電気機器																																	
	輸送用機器																																	
	その他																																	
非製造業	19	3	10	6	3	15	2	17	0	0	18	1	1	14	4	0	17	2	2	15	2	0	19	0	2	13	4							
	100%	15.8%	52.6%	31.6%	15.8%	78.9%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	68.4%	21.1%						
	卸売業																																	
	小売業																																	
	商店街																																	
	サービス業																																	
	建設業																																	
	運輸業																																	
	その他																																	
	19	8	6	5	2	7	2	3	14	2	0	16	3	5	7	7	1	13	5											1	16	2	3	9
100%	42.1%	31.6%	26.3%	16.7%	58.3%	16.7%	15.8%	73.7%	10.5%	0.0%	84.2%	15.8%	26.3%	36.8%	36.8%	5.3%	68.4%	26.3%											5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	47.4%	36.8%
38	11	16	11	5	22	3	5	31	2	0	34	4	6	21	11	1	30	7	2	15	2	1	35	2	5	22	11							
100%	28.9%	42.1%	28.9%	16.1%	71.0%	9.7%	13.2%	81.6%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	55.3%	28.9%	2.6%	78.9%	18.4%	10.5%	78.9%	10.5%	2.6%	92.1%	5.3%	13.2%	57.9%	28.9%							

情報連絡員報告総括表(令和3年10月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向 (前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	2
繊維工業	0	0	3	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	0	3
木材・木製品	0	3	1	0	3	1	1	3	0	1	2	1	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	0	3
紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0
一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	3	9	7	2	16	1	3	16	0	1	16	2	2	10	7	0	15	4	1	14	4	1	16	2	1	11	7
100%	15.8%	47.4%	36.8%	10.5%	84.2%	5.3%	15.8%	84.2%	0.0%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	52.6%	36.8%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%
卸売業	1	4	1	0	5	1	2	4	0	0	6	0	1	3	2	1	5	0				0	6	0	1	5	0
小売業	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
商店街	1	0	3	1	0	3	0	3	1	0	2	2	1	0	3	0	1	3				0	1	3	1	0	3
サービス業	0	0	5				0	3	2	0	4	1	0	0	5	0	1	4				0	2	3	0	0	5
建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	2	0	0				0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	4	4	11	1	5	5	3	13	3	0	16	3	3	3	13	1	8	10				0	12	7	2	6	11
100%	21.1%	21.1%	57.9%	8.3%	41.7%	41.7%	15.8%	68.4%	15.8%	0.0%	84.2%	15.8%	15.8%	15.8%	68.4%	5.3%	42.1%	52.6%				0.0%	63.2%	36.8%	10.5%	31.6%	57.9%
38	7	13	18	3	21	6	6	29	3	1	32	5	5	13	20	1	23	14	1	14	4	1	28	9	3	17	18
100%	18.4%	34.2%	47.4%	9.7%	67.7%	19.4%	15.8%	76.3%	7.9%	2.6%	84.2%	13.2%	13.2%	34.2%	52.6%	2.6%	60.5%	36.8%	5.3%	73.7%	21.1%	2.6%	73.7%	23.7%	7.9%	44.7%	47.4%